

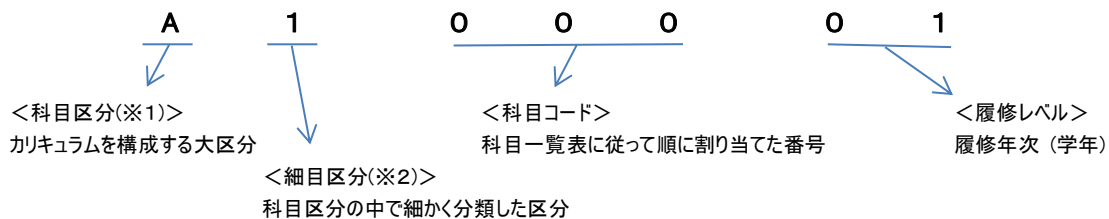
# 嵯峨美術短期大学 カリキュラムマップの見方

## <美術学科>

カリキュラムマップには、各科目を履修することで身に付けることのできる知識や能力が示されています。きちんと計画立てて科目を履修し、学修できるように、また、選択に迷った場合の参考資料になるようにと作られたツールです。ぜひ活用してください。

学生のみなさんには、カリキュラムマップを参考にしながら、極端な偏りなくバランスの良い履修を目指し、積極的に学びの計画立案や振り返りをしていただきたいと思います。

一番左のアルファベットは「科目区分」に対応しており、二番目の数字は「細目区分」・・・以下、下の図にあるように、全ての記号には意味が付されています。記号の配置ルールが分かれば、表を見なくともその科目がどのような科目か、カリキュラム上でどのような位置にある科目かが分かります。



科目区分	細目区分	授業科目	科目ナンバ	単位数	備考	学位授与方針(DP)								
						A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	D-1	D-2
	導入	導入ゼミ	A1000	01	2			○				○		
		文芸	A2001	01	2		○							

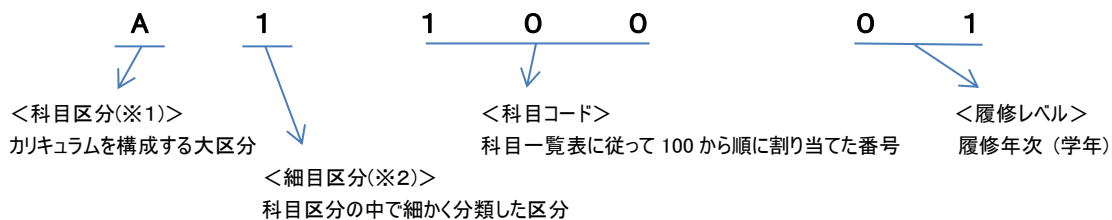
学位授与方針(ディプロマポリシー)のうち、各科目が対応している項目に「○」を付けています。その科目を履修することで、以下のような能力を身に付けることができます。

### <学位授与方針(ディプロマポリシー)>

知識・理解	A-1	現在の芸術の動向および理論を理解し説明することができる。
	A-2	伝統的な芸術表現と様式を学び、現代に生かすことができる。
	A-3	現代社会に生起する様々な事象に対してみずからの考えを筋道を立てて述べるることができる。
論理的・創造的思考力	B-1	柔軟な思考と創造性を発揮できる。
	B-2	問題解決の手法を幅広く検討し、実践することができる。
態度・価値観・倫理観	C-1	主体的にテーマ・課題を見出す姿勢を身につけている。
	C-2	他者を尊重し思いやる心を身につけている。
技能・技術・表現	D-1	現代の芸術活動に必要な基礎的な造形力を身につけている。
	D-2	芸術の技術を応用し、自らの個性を表現し発信する力を身につけている。

## <専攻科>

一番左のアルファベットは「科目区分」に対応しており、二番目の数字は「細目区分」・・・以下、下の図にあるように、全ての記号には意味が付されています。記号の配置ルールが分かれば、表を見なくともその科目がどのような科目か、カリキュラム上でどのような位置にある科目かが分かります。



科目区分	細目区分	授業科目	科目ナンバー		単位数		備考	学習成果				
			必	選	必	選		A	B	C	D	
		芸術思想研究	A1100	01		2			○			
		芸術心理学研究	A1101	01		2		○				

学習成果のうち、各科目が対応している項目に「○」を付けています。その科目を履修することで、以下のような能力を身に付けることができます。

### <学習成果>

<b>A</b>	現代社会と美術やデザインとの関わりを理解し、今後自ら活動していく具体的かつ現実的な展望を他者に説明することができる。
<b>B</b>	社会の要請に応えるため、調査・分析・企画立案を適切かつ機敏に実行できる。
<b>C</b>	主体的に研究テーマを見だし、社会に即応していこうとする強い意欲を身につけている。
<b>D</b>	美術やデザインにおける高度な専門性を身につけ、それをもとに自らの感性を表現する実践的なプレゼンテーション技能を有している。

【参考】

＜美術学科＞

科目区分(※1) ↓

細目区分(※2) ↓

A	一般教育科目	1	導入
		2	人間と社会
		3	言語と表現
B	専門教育科目	1	基礎
		2	コミュニケーション
		3	美術
		4	デザイン
		5	マンガ・コミックアート
		6	
C	展開科目	1	京都の美
		2	キャリアプログラム
		3	伝統芸術
		4	フィールドワーク
D	選択演習科目	1	選択科目
E	専門演習科目	1	美術
		2	デザイン
		3	マンガ・コミックアート
		4	
F	専門実習科目	1	美術
		2	デザイン
		3	マンガ・コミックアート
		4	

＜専攻科＞

科目区分(※1) ↓

細目区分(※2) ↓

A	各専攻共通科目	1	芸術
		2	美術
		3	デザイン
		4	マンガ・コミックアート
		5	伝統工芸
B	専攻別専門科目	1	美術
C		1	デザイン

以 上  
教務委員会